

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 12 月 29 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570907840
法人名	医療法人恵愛会
事業所名	グループホーム仁愛
所在地	秋田県鹿角市花輪字大月田78番地5 (電 話) 0186-30-1660
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年12月29日

【情報提供票より】 (平成21年10月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年12月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	12人, 非常勤 2人, 常勤換算 13.7人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り
	1 階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,750 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (12月10日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護 1	1	要介護 2	7		
要介護 3	8	要介護 4	2		
要介護 5			要支援 2		
年齢	平均 87.3 歳	最低	79 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鹿角中央病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鹿角市の中心部に医療法人の経営する病院を母体とし、同敷地内に隣接して建てられた2ユニットのホームです。家族や利用者の多くが病気に対する様々な不安を抱える中で、医療体制の充実による安心して生活できるホームとして喜ばれています。毎月継続して行われている外出・外食では、便りで家族の参加も呼び掛け、家族とともに楽しめる行事の一つとして大変喜ばれています。また、便りには、利用者の様々な表情や日頃の状況が個別に記載され、家族に報告されています。運営推進会議や防災訓練、法人・ホーム行事は、地域の方々の理解と協力を得て、地域の方々や家族の参加も多く、地域に根ざしたホーム作りが行われています。職員は、利用者の尊厳を重視され、家庭的な雰囲気ケアされる方の立場に立った介護を実践されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4) 運営推進会議に行政の参加が1回よりありませんでしたが、働きかけによって、今回評価では2名の職員が毎回実施される会議に参加されています。また、職員の大幅な異動によって実施できていなかった研修や勉強会が、今回評価では毎月実施されており、改善が見られました。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) 全職員で一堂に会して話し合っ自己評価に取り組み、管理者同士がサービスの質に違いや環境の違いがあってはまずいという考えから、共通の取り組みを行うものとして一つにまとめられています。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6) 運営推進会議には、市職員2名、地域2名、家族会代表、薬剤師、栄養士、職員がメンバーとなり、その時々の内容によって参加メンバーに消防署員等のメンバーが加わり、2か月に1回定期的に開催されています。行事報告、避難訓練、介護保険制度の改正点、外部評価、感染対策等々、その時々話題を提供され、活発な意見交換が行われ、サービスの向上に活かしておられます。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8) 家族会を結成され、運営推進会議や定期的に開催される会議において、意見の聴取が行われています。また、ホーム内の職員の目につかない場所に意見箱を設置することによって、投函しやすい工夫をする等の配慮もされ、意見を基に改善に取り組み、運営に反映しております。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) 町内会に所属され、運営推進会議を通じて、回覧等によって、ホームの状況を発信され、理解と協力を呼び掛けております。避難訓練やホーム行事は、準備から後片付けまで地域の方々の協力をいただき大々的に行う等、連携がとられています。さらに今年度は、地域・家族・利用者が参加してのぶどう狩りや紅葉見物に出かけており、ボランティアの協力もあり、地域に根差したホーム作りが行われています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な楽しい雰囲気作り」「人としての尊厳を重視」「一緒にケア、そしてケアされるケア」を理念に掲げ、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして取り組まれています。	○	地域との係わりも含めた理念への取り組みを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	前回同様、2ユニット合同の朝礼が夜勤者、早番、日勤者によって行われ、全員で理念を唱和することで共有を図り、日々の実践に取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	恒例となった七夕やクリスマス会等、ホームで開催する行事は、地域と協働した大きな行事であり、準備から後片付けまで、地域の協力を得て行われています。参加者も多く地域の方々も楽しみにされています。さらに今年度は、地域や運営推進会議メンバー、利用者・家族共にぶどう狩りや紅葉見物に出かけられ、地域からはボランティアとしての協力も得られています。また、避難訓練への協力もあります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価の意義を理解され、前年度の自己評価・外部評価を活かし、具体的な改善に積極的に取り組まれています。また、運営推進会議で外部評価結果や取り組み状況の報告が行われ、意見交換も行われております。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前年度参加の少なかった市職員の参加が毎回2名あり、地域の方2名、栄養士、利用者家族代表者、薬剤師、職員等によって2月に1回定期的に開催され、活動状況、行事、制度、防災等々、忌憚のない意見交換が行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	制度や保険請求等について相談や助言をいただく等、連携を取られ、サービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、状態変化時等は電話で、また、毎月のたよりにて暮らしぶりや健康状態等の状況報告がそれぞれの写真付きで、行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時の説明とホーム内に窓口の掲示、また、職員からは見えにくい場所に意見箱を設置され、投函に対する配慮を行い、気軽に意見が言い出しやすいようにされています。さらに、家族会開催時に広く意見の聴取に努め、意見を基に改善されるなど、運営に反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員と利用者の信頼関係を大切に馴染みの関係作りと「ありがとう」の感謝の気持ちで接することで、徐々に馴染んでいただいております。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1～2回の勉強会が開催され、職員のスキルアップに繋がっております。また、外部研修参加後は、職員会議で復命研修が行われ、周知されております。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や講習会を通じ、知り合った同業者と意見交換等の交流を持たれ、サービスの質の向上に努めています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、見学や体験利用も可能ですが、病院から直接入居される利用者が多く、馴染みながらのサービス利用には結びついておりません。	○	本人・家族が納得したうえでサービスを開始できるように見学や体験利用等の働きかけに工夫されることを期待します。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントによって得た情報を基に生活歴やこれまでの生き方を理解され、人生の大先輩として、日々の生活の中で、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントによって一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように日々の何気ない会話から、把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等、日々の申し送りや定期カンファレンスで内容把握に努め、職員への聞き取りをしながら計画作成が行われています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランの長期目標期間を6か月短期目標期間を3か月とされ、3か月毎のモニタリングが行われ、変化がある時には随時、新たなケアプランが作成されております。また、支援経過への記載もあります。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	帰省や受診等、本人や家族の要望に応じ、柔軟に対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関への受診や緊急時の対応が行われていますが、他に希望のかかりつけ医の受診も可能です。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ターミナルケアへの取り組みについて話し合いの機会を持たれ、検討は行われていますが、現状ではホーム体制に限界があることを家族・利用者に説明され、職員も情報を共有しております。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉の掛け方やさりげない対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、自己決定できるように尊厳を持って接しております。また、個人情報については、同意を得て十分に配慮され行われています。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの体調や意向に配慮し、ペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みに合わせた献立の作成が出来るように1週間に1回、献立会議が開催され、管理栄養士による栄養指導も受けています。職員も同一テーブルで一緒に食事を会話をしながら楽しんで摂られ、食事の準備や下膳、茶碗拭き等と一緒にいられています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に沿って午前・午後を問わずいつでも入浴ができるように、また、週3回は入浴ができるように支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、日常生活上の役割やハーモニカや尺八、踊り、歌等の楽しみごとも含めた気晴らしの支援が行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には散歩や庭のベンチを活用され、歌を歌ったりしながら、外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、外の出たがる利用者には職員が付き添うなどの配慮が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、日中・夜間想定で消防署員、地域の方々の協力を得て避難訓練が行われております。また、今年度は、偽煙体験による訓練も行われ、運営推進会議で消防署員の参加しての報告会が行われています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士からの助言・指導のもと、栄養バランスの取れた献立作成が行われています。また、毎食後の摂取量チェックが行われ、摂取量が少ない場合には、医師への相談も行われています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	床暖房システムで心地よいあたたかさを保ち、共有空間には、手作りの季節感ある装飾品で飾られ、家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、小上がりの広々とした畳敷きの談話室、みんなが一緒に活動できる食堂テーブル等、生活感や季節感を十分に採り入れ、居心地良く過ごせるように工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたものや好みのものが持ち込まれ、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。